

多層移動量計の目的と概要

目的

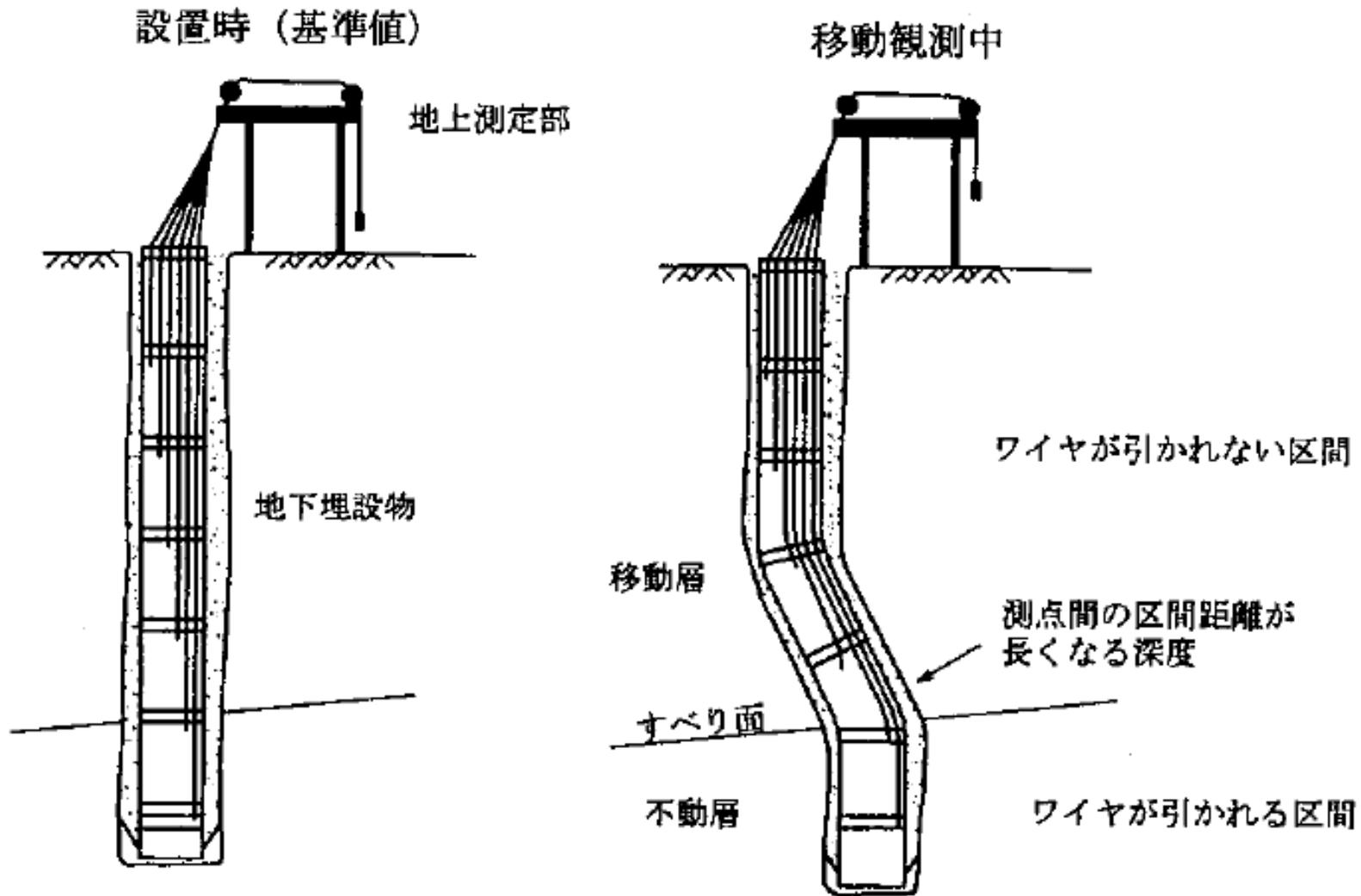
- 地すべりのすべり面ならびにすべり面における移動量の把握

概要

- ボーリング孔の各深度に固定したワイヤーを地上部に誘導し、ワイヤーの伸縮量を直接測定する
- 地中伸縮計を単一のボーリング孔内に多段に設置したもの
- 大変位の測定に有効
- 測定深度は40mまでが一般的
- 測定点間隔は0.5～2mで選定可能

『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』を参考に作成

多層移動量計のイメージ



『改訂版 現場技術者のための地質調査技術マニュアル』より引用